



〜禅語に学ぶ〜

その行動、

ばれますよ？

魚行水濁 鳥飛毛落

(魚行けば水濁り、鳥飛べば毛落つ)

水が澄んだところを魚が泳ぐと、水底の砂が舞い上がって水が濁る。鳥が空を飛べば翼から羽が落ちる。この二つは、どちらも生きて動いているからこそ起こることであり、意識せずとも自然と痕跡を残していることを表しています。つまり、「行動を起こすと何かしらの形で必ず痕跡は残るものである」という意味になります。

人生という長い旅路を歩んでいると、そこには必ず足跡が残ります。何か目標に向かって努力すること、誰かの為に行動すること、その行いは良い結果として

必ず自分へと返ってきます。

その逆もしかり、怠けていては自分の為にならず、他の人を嘘やごまかしで欺いたり、傷つけていたりしては、孤立するなど悪い結果として返ってきます。

例えば、家族や友人との何気ない会話の中で発した言葉によって、相手に元気を与えたり心を落ち着かせたりと、知らぬうちに「良い跡」を残していることがあるでしょう。

また、心でそうは思っていないくとも、自分の発した言葉によって相手に深い「傷跡」を残してしまうこともあります。この、意図せず相手に「傷跡」を残してしまうことが、後々のトラブルの原因になることがあります。これは、細心の注意を払っていても防げないことがあります。

このように、私たちの行動一つによって、良いも悪いも何かしらの跡を残しながら生きていくのです。

近ごろ、芸能人が過去の不祥事が明る

みになったことによって、活動休止したり引退に追い込まれたりするニュースを耳にすることが増えました。これも、まさに「魚行水濁」です。自分のした行為というものは、嘘偽りをしたとしても、決して消えることが無く後々自分に返ってきてしまうのです。

また、SNSやインターネットで、国内のみならず世界中に向けて自分の発言が出来ます。しかし、そのたった一人の発言が、良くも悪くも大きな波紋を与えることが多々あります。

「魚行水濁 鳥飛毛落」という禅語は、私たちの行動一つ一つによって、周りに何かしらの影響を与えることを気づかせてくれます。その自分の行動が周りに影響を与えることを意識出来ると、おのずと責任のある行動を心がけるようになるでしょう。

(禅福 尚玄)